

私の仕事観

アジアを中心とした外国人人材の日本における就職・転職支援を行う株式会社ASISAI（アジサイ）を6月に設立しました。発展途上国からの留学生の就職支援に関わる中で感じたのは、彼らの前向きな志向や日本人とは異なる価値観が今後の日本に必要なということ。同時に、その可能性を開花させるためには、「仕事により生活の糧を得るに留まらず自己実現の喜びを得る」ことの重要性を伝える教育がもっと必要だということも痛感しました。この部分のサポートを重視し彼らの潜在力開花に力を尽くしたいと思っています。

アジアの才能を日本から世界へ。

外国人人材と真摯に向き合う

最近思っていることあり

日本の市場全体も労働市場も人口減少により縮小が免れない今、そのマイナスを補うために「訪日外国人」や「外国人労働者」に注目が集まっています。しかし、この風潮の根底に「外国人を「利用する」と言う一種傲慢な意識があるように思えてなりません。私はこれまで外国の人々の「人生を前向きに楽しむ」というポジティブな志向や独自のモノの見方に触れ、たくさんの方に気づかされてきました。今後の日本が真の豊かさを見出し、いくためには、外国人を利用するのではなく、その異なる価値観との出会いから学ぶという姿勢が必要ではないでしょうか。

Face of

●会社概要

2016年設立。外国人留学生、留学経験のある人材に対する就職・転職支援を行う。社名には「アジアの人材の才能を日本から世界へ」という思いが込められている。「単に就職先を斡旋するに留まらず、“働くとは何か”という気づきを提案することで潜在力の開花をサポートできるような企業でありたいと思っています。」

未来に向かって

発展途上国出身の多くの人にとつて、「仕事は食べるためのもの」です。もちろん、これがすべての根底であることは間違いないかもしれませんが、そこから一歩進んで「仕事により人のために役に立つ喜び」「自己実現をする喜び」という高次の喜びに気づく人々が増えると、彼らの活躍の場はさらに広がり、日本社会に貢献できると同時に、世界への扉も開かれるでしょう。さらには、そこで得た様々な経験を母国に持ち帰り母国の発展にも寄与できるはずです。一人ひとりに真摯に向き合い「働くとは何か」という「生きていくための哲学」を伝えられる場を創りたいと思っています。



株式会社ASISAI

代表取締役

森田 光

もりた ひかる

駒澤大学卒業後、大手のIT企業に入社。その後、大手人材会社などで社員教育、就職支援の営業職を経て、外国人及び外国人留学生の就職支援に携わる。現在、大学や専門学校などで外国人留学生向けのキャリア教育の講師も務める。就職支援のポリシーは「外国人の強みを活かすこと」。ミャンマー料理のモヒンガーが好物。